

令和4年第3回九戸村議会定例会決算審査特別委員会

令和4年9月14日（水）

午前10時 開議

場所 常任委員会室

◎審査日程（第4号）

- 日程第1 議案第11号 令和3年度九戸村一般会計歳入歳出決算認定について
【質疑 歳出(10款・11款・12款・13款)】
- 日程第2 議案第12号 令和3年度九戸村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第13号 令和3年度九戸村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第14号 令和3年度九戸村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第15号 令和3年度九戸村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第16号 令和3年度九戸村索道事業特別会計歳入歳出決算認定について

◎出席委員（11人）

1番	古 舘	巖 君	7番	保大木	信 子 君
2番	川 戸	茂 男 君	8番	岩 渕	智 幸 君
3番	坂 本	豊 彦 君	9番	渡	保 男 君
4番	大 崎	優 一 君	10番	山 下	勝 君
5番	中 村	國 夫 君	11番	桂 川	俊 明 君
6番	久 保	えみ子 君			

◎欠席委員（なし）

◎説明のため出席した者の職氏名

村	長	晴 山 裕 康 君
副 村	長	伊 藤 仁 君
教 育	長	岩 渕 信 義 君
総 務 課	長	杉 村 幸 久 君
会 計 管 理 者		
兼 税 務 住 民 課	長	大 向 一 司 君
産 業 振 興 課	長	中 奥 達 也 君
地 域 整 備 課	長	関 口 猛 彦 君
教 育 次 長		坂 野 上 克 彦 君
地 域 整 備 課 主 幹		上 村 浩 之 君
兼 水 道 事 業 所 長		

◎職務のため委員会室に出席した事務局職員の職氏名

事 務 局 長	大久保 勝 彦
主 任	山 本 猛 輝

◎開議の宣告（午前 10 時 00 分）

○委員長（川戸茂男君） おはようございます。

ただ今の出席委員は、11 人です。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

◎審査日程の報告

○委員長（川戸茂男君） これから、本日の会議を開きます。

本日の審査日程は、お手元に配布のとおりであります。

審査に入る前に、資料を依頼していたものについて、また、答弁を保留していた件について、タブレットに掲示されております。

資料の概要について、担当課長から説明をお願いいたします。

はじめに、税務住民課長

○税務住民課長（大向一司君） それでは、中村委員さんから質問いただきまして、資料を提出することとしておりました 2 件について、ご説明申し上げます。

資料 No. 1 ということで載せておりますが、上の方ですね、最初に外国人登録者の国籍別の人数、男女ということでございました。まず上の方の 2 年度につきましては、世帯数については 15 ということで中国 14、ベトナム 1 となっております。なお、これは下の欄外のところに※印で載せておりますが、外国人のみで構成される世帯数が 15 ということで、そうでない世帯については、6 世帯あります。

それから人口の方ですけれども、男が 4 人ということで、中国、マレーシア、ベトナム、英国ということで、各お一人。それから、女性につきましては中国が 20 人ということで、合わせて 24 人。

3 年度につきましては、世帯数が 13、中国が 7、インドネシア 4、ベトナム 2 となっております。人口につきましては、男性が 6 ということで中国 2、マレーシア 1、ベトナム 2、英国 1 と。女性につきましては、18 人ということで、中国 14、インドネシア 4、合わせて 24 人となっております。

次に、マイナンバーカードの交付件数ということで、年代別、女性別ということで、10 歳ごとの区分とさせていただきます。

まず、0 歳から 9 歳までが 32 人。それから 10 代が 67 人、20 代が 42 人、30 代が 62 人、40 代が 82 人、それから 50 代が 89 人。それから 60 代が 154 人、70 代が 119 人、80 代が 48 人、90 代が 7 人となっております。一番多いのが 60 代、次が 70 代、それから次が 50 代というふうになっております。

これを担当の方で、多少分析いたしましたけれども、まず、今、人口構成が、人口の年代の割合が多いのがこの年代であるということと、やはり免許証の返還などもあって身分証明書というふうなことも考えられたのかなということと、もう一つ、一番要因かと考えておりますのは、できるだけ高齢の方には申請の機会

を増やしたいというか、わざわざ出ていらっしやらなくてもできるようにということで、コロナワクチンの接種のときに、接種の受け付けといいますか、お手伝いする機会を設けました。

そういうこともあって、この年代が多くなっているのかなというところもあるのかなと思っております。以上でございます。

○委員長（川戸茂男君） 次に、産業振興課長

○産業振興課長（中奥達也君） 続きまして、資料No.2でございます。

昨日、山下委員からご質問のありました山林の皆伐状況についてまとめましたので、お知らせしたいと思います。

山林の皆伐状況でございますが、まず九戸村の山林面積は、1万43ヘクタールでございますが、このうち、私有林の面積は7,890ヘクタールでございます。それで、年度ごとの皆伐面積ということで、今、村に提出されている伐採届けを集計いたしました。伐採届けには期間を定めておまして、いつからいつまでに伐採するという申告があるんですが、その伐採の周期において年度を区別したものでございます。

それで、3年度につきましては、件数は22件で皆伐面積は61.72ヘクタールでございます。令和4年度、今年度でございますが、31件で53.53ヘクタールでございます。来年度までかかるということで、5年度ということでございますが、件数は15件で34ヘクタールでございます。

令和6年度につきましては、2件ありまして5.61ヘクタールでございます。令和7年度までかかるという届け出でございますが、3件ありまして12.25ヘクタールでございます。以上、皆伐状況について、お知らせいたします。

○委員長（川戸茂男君） ありがとうございます。

説明が終わりました。

◎議案第11号の個別審査

○委員長（川戸茂男君） それでは、本日の審査日程に入ります。

昨日に引き続き、議案第11号「令和3年度九戸村一般会計歳入歳出決算認定について」の審査を行います。

それでは、歳出について、10款教育費、11款災害復旧費、12款公債費、13款予備費の個別審査を行います。

質疑ありませんか。

3番、坂本豊彦君

○3番（坂本豊彦君） 質疑に入る前にお願いがございますが、よろしいですか。

資料請求。聞き漏れがありますので、明日の総括でやりたいと思いますが、その資料が。

- 委員長（川戸茂男君） 資料の要求ですね。
- 3番（坂本豊彦君） 成果の88ページ、商工業振興費の中の公園費で、道の駅・河川公園管理運営事業ということで、管理運営委託料がございますが、この中身について、資料をお願いいたします。明日の総括で、ちょっと質問をさせていただきます。
- あともう1点、上村主幹にお願いですが、ペットボトル水道水について、収入と支出、製造委託とか、ラベルのとか一目で見て分かるような資料をお願いいたします。明日、水道の項目で質問させていただきます。よろしく申し上げます。以上です。
- 委員長（川戸茂男君） ほかに、資料の要求はありませんか。
- ないようですので、それは、10款から13款の個別審査を行います。
- 質疑ありませんか。11番、桂川俊明君
- 11番（桂川俊明君） 105ページの通学バス運行利用者状況のところなんですけど、利用者数は要求というか、希望者のことなのか、利用しているから実績で見ているのか、ここはどう判断したらいいですか。
- 委員長（川戸茂男君） 教育次長
- 教育次長（坂野上克彦君） ここに載せております利用者数ですけども、前段として年度前に、開始前に希望等をとります。希望に沿って実際に乗車したものとということになりますので、実績と申していただいてもよろしいと思います。
- 委員長（川戸茂男君） 11番、桂川俊明君
- 11番（桂川俊明君） 実は、伊保内の方で通学バスの運行距離、多分決まっています、乗れない子どもを送り迎えしていて、冬期間、危険だから、できればバスに乗せたい、伊保内のどこからか、例えばふれあい広場まで連れて来てそこからとか、そういう形をできないものなのかという伊保内地区の方に話をされました。その辺を、おそらく、いろんな声があるかもしれませんが、この利用状況を見ると、空きはあるのかなということを見て、その辺、冬期間だけでも。
- 本当は、スクールバスの乗車を検討していただければと思ってお話をしましたけれども、いかがでしょうか。
- 委員長（川戸茂男君） 教育次長
- 教育次長（坂野上克彦君） 冬期間と夏季の期間は、若干、冬期間の方が対象者数を多くして運行しているのは以前からやっていますけれども、そういう希望があるということは、まだ漏れている方もいらっしゃると思いますので、再度、確認等、あと本人の希望等を確認しまして、対応したいと思います。
- 委員長（川戸茂男君） 11番、桂川俊明君
- 11番（桂川俊明君） 通学バスを利用できる人たちはいいんだけど、利用に漏れた人というか、例えば荒谷とか伊保内のどの辺か分かりませんが、距

離がありますよね。その方みたいなんです。そういうところの声も吸い上げて対応していただければということです。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） 調査しまして、なるべく意向に沿うようにさせていただきます。

○委員長（川戸茂男君） ほかに、質疑ありませんか。

6番、久保えみ子君

○6番（久保えみ子君） 前にも要望があって、教育委員会にお話したと思いますけれども、街灯、荒谷から中学校に上がって行く線、あの線にもうちょっと街灯が欲しいと、暗いということで街灯の要望をしたんですが、その後どうなっているのか。

それで、私もそう言われて小沢から中学校に上がる線の所に夜行ってみていたんですよ。そしたら、やはり真っ暗いし、何か電灯を持った人が歩いて来るんです。それで、「あれっ、何ですか」と言ったら「クラブ活動です」と言って生徒だったんですよ。そういうふうにして、電灯を持ってクラブ活動に、何時だったか6時ごろだったかなと思いますけれども来るんです。だから、かわいそうだなと、本当にこれは電柱がないとかかわいそうだなという状況を見ましたので、できるものであれば、もう少し街灯を増やしてもらいたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） 3年度につきましては、新たに街灯の基数を多くしたということはありませんので、ちょっと未解決になっているかと思っておりますので、調査して検討させていただきたいと思っております。

○委員長（川戸茂男君） ほかに、質疑ありませんか。

10番、山下 勝君

○10番（山下 勝君） 決算書の117ページ、1項2目の右側でスポーツ少年団等全国大会等出場補助金というふうにあります。具体的にはどのような中身の補助金だったのか、お願いします。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） このスポーツ少年団全国大会の補助金19万7,480円は、冬季のスキーの種目で全国大会に出場したというものでした。

確か、コーチ1人と、それから生徒が4名だったと思っておりますので、その補助金になります。

○委員長（川戸茂男君） 10番、山下 勝君

○10番（山下 勝君） そうしますと、基本的にスポ少の8団体に確か1万5,000円の補助金ということで、年間、補助金が出されていて、それ以外にいわゆる県

大会とか、それ以上の出場の部分については補助金が確かなかったと思いますし、その点について何とか考えてほしいなということを数年前に、確かお願いしたんですけれども、中高校生だと、やはりいろいろそういうふうな大会で経費が掛かるということで、いろいろ設けられているわけですが、スポ少だと学校単位ということではないので、どうしても資金集めという部分は難しく、簡単に言えば親が負担ということで、上に行けば行くほど負担がどんどん増えると。いろいろ掛かるから、じゃあ、そこまでは。気持ちはあるけれどもやらせたくない、苦しいな、難しいなということが出てくると思うので、やはり、子どもたちが特にも今お話しているのは、小学生ですけれども、やはり大舞台で頑張ってもらって、いろいろな経験をしてもらうためには、やはりそういう上に行ったときにもいくらかでも保護者の負担を減らすと、いくらかでも援助できるような形での補助金というものは考えられないのかどうか、お願いします。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） 全国大会等に行く子どもというのは、なかなか毎年あるわけでもないので、当初予算の取り方としては、だいたい例年並みといいますか、前年度等の実績を踏まえまして計上しているところですが、そういった例が出てきた場合は、補正対応ということになるかと思えます。

それで、なるべく負担をかけないような形で、生徒たちができるだけ活躍できるようにしたいと思います。

○委員長（川戸茂男君） 教育長

○教育長（岩渕信義君） 今の件でございますけれども、確かに、スポーツ振興のために助成をするという考え方については、私どもとしても賛同するところです。しかし、私も自分の子どもで経験しているんですけれども、スポーツ少年団の大会っていっぱいあるんですよ、はっきり言うと。

それで、どの辺まで補助をするかとか何とかなんかについては考えないと、正直申し上げて冠大会とか、結構比較的重い大会もあれば、そうでもない大会もたくさんあるわけでありまして、したがって、教育委員会としましては、まず保護者負担をできるだけ減らすことと、それから、児童生徒の意欲向上のためにできるだけ金銭的な件については、補助していく方向で考えたいと思いますが、一応、小学校、中学校について補助についてある程度、ガイドラインをやはり定めていかないとだらないだろうなと思っております。

例えば、三大大会に準ずるとか、こういう大会だという形で、あるいは東北大会ではこのくらい、全国大会に行けばこのくらいという形で、ちょっとその辺のところは、部活動の地域移行も含めて、関係団体の方々も参集する予定でありますので、その辺についても実態を伺って、納得いただけるような方向性を示したいというふうに考えておりますので、ご理解をいただきたいと思えます。以上で

す。

○委員長（川戸茂男君） ほかに、質疑ありませんか。

5番、中村國夫君

○5番（中村國夫君） 関連なんですけれども、成果の105ページで、中学校の選手派遣補助事業ということで、一部助成されているようでございます。二戸大会と申しますか、二戸地区、あるいは県大会もございませぬけれども、その一部助成というのは、交通費のみでしょうか。

その内容について、お知らせください。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） 村のバスで間に合わなかったときは交通費、それから宿泊費を伴うときは、それも対象になっております。

全額というわけではなくて、予算の範囲内ということになりますけれども。

○委員長（川戸茂男君） 5番、中村國夫君

○5番（中村國夫君） この間、中学校でも二戸地区大会がございました。野球ですけれども、新人戦で優勝されたという話も聞いておりますけれども、その二戸地区大会に出場する場合と、あと県大会の補助の内容というのは、先ほどもお話ありましたけれども違う形になっているのでしょうか。

これから検討されるという形になるのでしょうか。その辺について、お伺いしたいと思います。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） 基本的には県大会等になりますね。県大会レベル等、地区の予選等につきましては、ほとんどは経費が掛からないような状態でございますので、そこは掛かったとしても、かなり比重は小さくなると思います。

それで、おっしゃったとおり、先週末あった中学校の新人戦はかなり例年よりも成績が良かったということで、県大会等に行く選手が今回多いようでございますので、もしかしたらまた増額ということになるかもしれませんけれども、そのときはまた、もし手持ちの予算で足りないような場合は、ご相談させていただきたいと思っております。

○委員長（川戸茂男君） ほかに、質疑ありませんか。

4番、大崎優一君

○4番（大崎優一君） 村内小中学校にエアコンが完備なったようですけれども、今年は暑い日が続いて大変助かったのではないかなと思いますけれども、その利用状況と言いますか、効果と言いますか、涼しいといいんですけれども。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） 学校ごとの稼働日数とか、そういったのはちょっと持ち合わせていないんですけれども、去年まではやはり毎年、先生方からは、「熱

中症が心配だ」と、「いつ倒れるか心配でしょうがない」というような話が校長会議等でも夏になりますと多かったです、今年度はそういったお話は伺っておりませんので、十分活用されているというふうに認識しております。

○委員長（川戸茂男君） 教育長

○教育長（岩渕信義君） 今、次長がおっしゃったとおりですが、私が村内の小中学校を回って歩いて、校長さん方に伺っている部分については、非常に感謝されています。やはり、今も残暑が結構きついので、かなりエアコンがあるということについて、非常に感謝されてございます。

あと、使用ですが、先生方も昨今の事情を分かっているもので、むやみやたらにつけているということがないので、もちろん教育委員会の方でも使用のガイドラインを各校に配っておりますので、適正に使われているものと、われわれは判断しておりますので、昨年度に比べればかなり環境的には児童生徒は満足した状態であるようであります。

○委員長（川戸茂男君） ほかに、質疑ありませんか。

10番、山下 勝君

○10番（山下 勝君） 陸上競技場の件と申しますか、走路の件を以前にお話して、ちょっと再検討いただくということだったんですが、ちょっとそのままになっているのか、見通しができているのか、その辺について、お聞きしたいと思います。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） 陸上競技場、以前、ご指摘いただいたものでございました。今までは、それ以前は、小中学校の陸上競技大会とか、そういったところに主に利用されてきた経緯がありますけれども、学校の方ではもうあそこをまた再度、何かに使うといったことは考えを持っている方はいらっしゃらないということでもあります。

それで、グラウンドゴルフ協会さんは、やはりあそこを夏の間かなり利用されておりますので、そのままの状態を保ってほしいということでもございましたので、現状を大きく変えるというところの計画は、今のところございません。

○委員長（川戸茂男君） 10番、山下 勝君

○10番（山下 勝君） 以前にお話した部分と重複するかもしれないんですが、今の話で現状、学校側としてあそこは使わないということですが、いわゆる土のクレーの走路でわざわざあそこに行って練習するよりはというふうな、現状としてはそういう適さないというか、現状、大会ではもう一戸のあその競技場みたいに全天候のそういうところで小学生もですし、中学生もそういうところでほとんど100パーセントと言っていくくらい大会を行っているので、そういうふうな回答があるというのは予想されますし、当然かなとは思いますが、元々その競技場、陸上競技場として造られた。それで、走路はあくまでトラックの部分ですね、

走路ということなので、それを全く別な用途に使うということがまず以前にお話した問題なのではないかと。

それで、事前に知らされていなかったということで、予算をつけてああいうふうにしてしまったわけですがけれども、私がそこで提言したのは、トラック部分、走路全部でなくても、1レーン、昔は1コース、2コース、3コースあたりまでコースを制限して、全天候型にすることで、要はそこで練習ができるわけですから、わざわざ例えば事前に一戸に大会会場だとか、そういうところに行って練習する必要もないし、村内にそういうところがあれば積極的に活用される機会になるわけですので、良いのではないかと。

例えば、盛岡の県営陸上競技場でいうと、県営運動公園の競技場でいうと、サブトラックのような形でですね、全体というか、一部の部分とか、そういうふうなのが実際ありますし、岩手大学のグラウンドにも走路が全部そういうふうな全天候ではなくて、一部分だけでもというふうな形でなっているわけですので、そういうふう実際に活用できるという形に、いくらかもちろんそこにまた経費が掛かるわけですがけれども、そこで積極的に小学校、中学校はその陸上の競技の練習に使ってもらおうという形で、そこにやる部分ではいいのではないかなというふうに、前回もそういうふうにお話したような気はしますけれども、そういう方法で活用方法、元に戻してやって進めていくというふうな形がいいんじゃないかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

○委員長（川戸茂男君） 教育長

○教育長（岩渕信義君） 今の件ですけれども、まず、いわゆるトラックにして全天候型にするということについては、まず一つは、当然の事ながら経費が掛かるわけでありまして。

それから、あと実際に、学校現場の方でニーズがあるか、あるいは他の競技団体でニーズがあるかということもございまして、その辺のところも含めてやらないと、結局、費用対効果の問題で立派にしたけれどもほとんど使われないということになれば、そのお金を他に回した方が良いということもありますので、一方で山下委員おっしゃるように、その活用はできるんじゃないかなというお考えもあるでしょうから、この件についてもちょっと私どもの方でしばらくいろんな方々の学校現場はもちろん、他の競技団体やスポーツ指導員等の方々のご意見も伺いながら、あそこをどういうふうにしていったらいいのかということについて、今年度を目途にまず次年度に方向性を示せるように検討したいというふうに考えたいと思います。

○委員長（川戸茂男君） ほかに、質疑ありませんか。

3番、坂本豊彦君

○3番（坂本豊彦君） 成果の111ページお願いします。

社会教育総務費の中の黒山の昔穴遺跡について、お伺いいたします。

今年、世界遺産に御所野遺跡が指定されましたけれども、この黒山の昔穴の立木の取得補償、これについて内容をお願いいたします。林家は1件ですか、あと何件かありますか。その辺をお願いします。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） この立木の取得補償の件ですけれども、まず持ち主は、現在は御一方でございました。昨年度まで御二方おられたのですけれども、売買をなさったようで、今は一人という状況でございます。

それで、国指定に向けた村の動きについて、前段として立木を、立木を持ち主の方が使えなくなると、何とか補償をしてくれというような要望がありまして、2年度に二戸森林組合の方をお願いをして、おおよその見積もりを取りまして、予算額を3年度に計上させていただいたというところでございます。

それで、登記等も行っておりまして、今は手続きが進みまして、実質、村の持ち物と、地上権を設定しましたので権利があるということになりましたので、特にあそこを伐採するという考えはないのですけれども、そこを保全する形でうちの方で取得したという経過でございます。

○委員長（川戸茂男君） 3番、坂本豊彦君

○3番（坂本豊彦君） これは、立木だけの補償で将来というか、3年は取得ということは考え、地主の思いが一番だと思いますが、どうでしょうか。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） この取得した立木も切ったとすれば、また、年数25年だったかちょっと不確かなのですけれども、その期限がくればまた同じような話が出て来ると予想されますので、ずっとそれをお金を掛けることはできないので、具体的な検討はしておりませんが、考えなければならぬものと思います。

○委員長（川戸茂男君） 3番、坂本豊彦君

○3番（坂本豊彦君） これは教育長にお伺いしますが、県指定で国指定に向けていろいろ活動しているわけですが、今の状況下ではどのような模様なのか、知っている範囲をお願いします。

○委員長（川戸茂男君） 教育長

○教育長（岩淵信義君） まず、先ほど次長が申し上げたとおり、一応立木だけ今、手に入れてあそこをやっているわけですね。

それで、あれを国指定にするとなると、地主のある程度許可も必要だと、内諾も得ているということなので、国指定に向けた場合の活用の仕方とかですね、その他もろもろのことを考慮して申請に向けていかないとならないなというふうに、われわれは思っておりますので、今、黒山の昔穴遺跡については検討している

ところなので、一応、今、お話したように、将来的な利活用に向けて、ある程度方針が決まった段階で国指定に向けて動くということになるんだろうと思います。

○委員長（川戸茂男君） ほかに、質疑ありませんか。

5番、中村國夫君

○5番（中村國夫君） 九曜塾について、お伺いをしたいと思います。

教育委員会では、次代を担う人材の育成ということで、毎年さまざまな計画をされて取り組んでおられるわけですが、令和3年度におきましてもいろいろな計画を企画して取り組んでこられたと思いますが、その内容についてお知らせをいただければと思います。

○委員長（川戸茂男君） 教育次長

○教育次長（坂野上克彦君） 3年度の内容につきましては、主に自然体験とか、そういったものが多かったんですが、具体的な資料を持ち合わせておりませんでしたので、資料提供ということで用意させていただいてよろしいでしょうか。

○5番（中村國夫君） できれば3年度、毎月だと大変でしょうけれども、その内容についてお知らせいただければなど。

○教育次長（坂野上克彦君） それでは、月ごとに内容をまとめたものを用意したいと思います。

○委員長（川戸茂男君） ほかに、質疑ありませんか。

6番、久保えみ子君

○6番（久保えみ子君） 今の中学校の修学旅行、14日からと聞いていましたが、行かれたのでしょうか。どうなったのでしょうか。

○委員長（川戸茂男君） 教育長

○教育長（岩渕信義君） 今日、出発しました。二泊三日で東京ということで、前回、この会でやはりご懸念があったので、再度、中学校の校長の方には確認をさせていただきます。それで、保護者の同意がほぼ得ているということと、保護者の方から特段の変更を求める声なかったということで、行くということに、今のところは考えているというふうな話でありまして、その後、昨日の時点で変更しますというふうなことはなく、行ってまいりますということでしたので、本日、出発したということでもあります。

それで、繰り返しになりますけれども、長興寺も明日出発なんですけれども、長興寺についても九戸中についてもすべての小中学校については、一にも二にも児童生徒が感染することのないようにということと、保護者の懸念、不安を払拭して、ある程度、同意を得てから出発するよということに申しつけておりますので、それに沿って各学校で判断をして行かれたものというふうに認識させていただきます。

あと、旅行中も校長等に聞くと、特段みんなの中に入っていきようなものとか、

そういったものは極力ないようにしているということなので、学校は学校で感染予防対策はしているというふうに認識してございます。以上です。

○委員長（川戸茂男君） 6番、久保えみ子君

○6番（久保えみ子君） 前にも私、教育長にもお話ししましたように、生徒の中にも「行きたくないという声があったよ」ということを聞きましたので、どうなったのかなと思って、今、質問をしたのです。分かりました。

○委員長（川戸茂男君） ほかに、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり。）

○委員長（川戸茂男君） 質疑がないようですので、これで10款教育費、11款災害復旧費、12款公債費、13款予備費についての個別審査を終わります。

なお、質疑漏れ等は、総括質疑の際にお願いをいたします。

それでは、ここで休憩をいたします。

10時50分に再開をしますので、お願いいたします。

休憩（午前10時39分）

再開（午前10時50分）

◎議案第12号から議案第16号までの個別審査

○委員長（川戸茂男君） 会議を再開いたします。

これから議案第12号「令和3年度九戸村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」から議案第16号「令和3年度九戸村索道事業特別会計歳入歳出決算認定について」までの5件について、一括して個別審査を行います。

これより質疑を行います。質疑ありませんか。

6番、久保えみ子君

○6番（久保えみ子君） 決算審査意見書の中からお伺いしたいんですけども、32ページです。国民健康保険税の推移というところに、30年度、元年度、2年度、3年度と4年間分上げていますが、その中の不納欠損額が2年度、3年度と多くなっています。その前の年度に比べて。

この辺は何か考えが改まって多くしてもらったのか、どういう経緯なのか、お願いします。

○委員長（川戸茂男君） 税務住民課長

○税務住民課長（大向一司君） 基本的な税率は変更しておりませんので、一つ考えられるのは、限度額等の動き等、もう一つは、

○6番（久保えみ子君） 違います。もう1回。委員長

○委員長（川戸茂男君） 6番、久保えみ子君

○6番（久保えみ子君） そのこのページの不納欠損額の滞納金額、滞納繰越の金額が。

- 委員長（川戸茂男君） 不納欠損が大きくなった理由でしょ。
- 6番（久保えみ子君） 不納欠損が大きくなった理由。
- 委員長（川戸茂男君） 198万1,000円のところ。
- 6番（久保えみ子君） 2年度は129万4,306円。その前の年が11万100円。その30年度も17万4,000円だったのに対し、2年度、3年度は大きな金額が不納欠損されていますよね。そのことです。
- 委員長（川戸茂男君） 税務住民課長
- 税務住民課長（大向一司君） 不納欠損につきましては、その前に執行停止という、財産調査をしたり、いろんなことをして経済的に納められる状況じゃない方とかですね、そういった要件がありますので、その要件を調査して、3年経過して状況が変わらなければ不納欠損ということになります。
- 以前より、そういった不納欠損についても行いますし、公売とか、そういうものもやるようになりましたので、そういったところの取り組みの状況によってもありますけれども、基本的なところはなく、滞納者の経済状況を見てということですので、意識的に増えたということではありません。
- 6番（久保えみ子君） 分かりました。
- 委員長（川戸茂男君） ほかに、質疑ありませんか。
（「なし」の声あり。）
- 委員長（川戸茂男君） 質疑がないようですので、議案第12号「令和3年度九戸村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」から議案第16号「令和3年度九戸村索道事業特別会計歳入歳出決算認定について」までの5件についての個別審査を終わります。
- なお、質疑漏れ等は、すべての会計が終わった後に、総括質疑を行いますので、その際をお願いいたします。
- お諮りいたします。
- 以上で、本日の日程は、全部終了いたしました。
- 本日の審査は、ここまでとしたいと思いますが、これに、ご異議ありませんか。
（「異議なし」の声あり。）
- 委員長（川戸茂男君） 異議なしと認めます。
- したがって、本日の審査は、ここまでといたします。
- なお、次の会議は明日、9月15日午前10時から行いますので、ご参集願います。

◎散会の宣告

- 委員長（川戸茂男君） 本日は、これで散会といたします。
ご苦労さまでした。

散会（午前 10 時 55 分）